



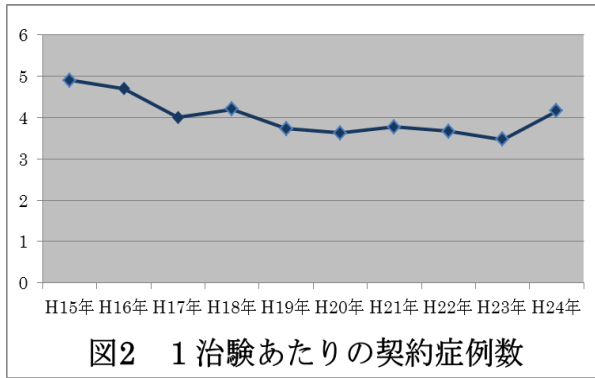
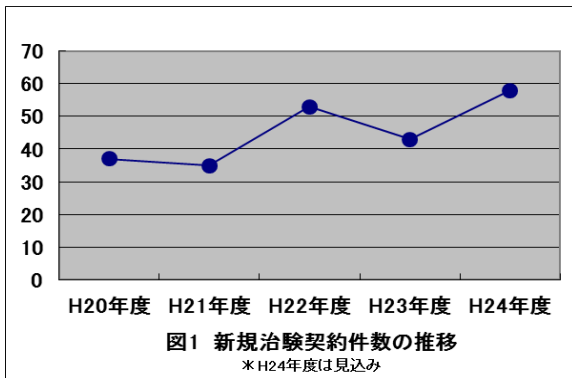
高度先進医療支援センターニュース



北の地ではまだまだ厳しい寒さが続いており、春はまだ遠く感じます。
今回は「平成24年度の治験受託状況について」等、記載しております。

●平成24年度の治験受託状況について●

治験の効率化に関する報告書(平成23年6月30日医政研発0630第1号)では、今後の取り組むべき課題として、治験コストの適正化(実績に基づく支払方法)を強く求めておりますが、本院では平成24年より経費算定方法をそれまでの半出来高方式から完全出来高方式に変更しております。それに伴い本院の治験の受託状況に変化することが想定されました。平成24年度の治験受託手続きの終了が近づき、平成24年度の受託状況の概要が判明しましたので、過去5年間の治験受託件数及び過去10年の1治験あたりの契約症例数のデータを提示致します。本年度は治験契約件数58件、1治験あたりの契約症例数4.16件と過去5年で最大となりました。特に1治験あたりの契約症例数は過去10年減少傾向を示しておりましたが、経費算定方法の見直しにより歯止めがかかった状況となっております。経費算定方法も含めた契約方法の見直しが、治験受託環境に好影響を与えておりますが、引き続き、コストの適正化等を含めた治験受託環境の改善を継続していく所存です。



●日本臨床試験研究会第4回学術集会総会●

「日本臨床試験研究会第4回学術集会総会」(会長:北海道大学病院 高度先進医療支援センター センター長・教授 佐藤典宏)が2月7日(木)、8日(金)の両日、北海道大学クラーク会館(札幌市)にて開催されました。降雪の悪天候の中、また、さっぽろ雪まつり開催中のため交通網や宿泊施設が混雑している中、医療機関、大学、製薬会社等の臨床研究関係者、約470名の方々にご参加いただき、盛況の中での開催となりましたことを厚く御礼申し上げます。

本学術集会総会では、「臨床試験実施基盤の強化のために ~我々は何を目指して、何処へ向かうべきなのか~」をテーマにシンポジウム、特別セミナー、ポスター発表等にて今後の臨床研究の実施基盤整備につながるような活発なディスカッションが行われましたが、本院では今回の学術集会総会での議論を踏まえて引き続き臨床研究中核病院整備事業を進めていきたいと考えております。



●事務局からのお知らせ●

■IRB開催予定日■

3月12日(火) 15:00 より

■会議室状況■

2月中のご予約は、ほぼ一杯となっております。

来月3月からのご予約も承っておりますので、SDV・アポイント等のお申込みの際には、お早めにお問い合わせくださいますようお願いいたします。



ホームページ: <http://trctca.huhp.hokudai.ac.jp/index.php>
お問い合わせ・配信変更等: 電話 011-706-7061